

平成22年 3月23日

大学コンソーシアムやまがた
総務運営委員会 各委員 殿

大学コンソーシアムやまがた
総務運営委員会委員長 下 平 裕 之

大学コンソーシアムやまがた総務運営委員会(持ち回り)
の結果について(報告)

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、平成22年3月17日付け文書によりお諮りいたしました、(1)平成21年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書(案)について、(2)第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)(部会等の改廃等)について、及び(3)平成22年度事業等について幹事会へ引き継ぐ事項につきましては、各機関ともご意見等がありませんでしたので、ご承認いただいたものとして取り扱わせていただきます。

ご協力をいただきましてありがとうございました。

大学コンソーシアムやまがた事務局
山形大学大学連携推進室内
TEL 023-628-4842
eメール unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成22年 3月17日

大学コンソーシアムやまがた
総務運営委員会各委員 殿

大学コンソーシアムやまがた
総務運営委員会委員長 下 平 裕 之

大学コンソーシアムやまがた総務運営委員会の開催
(持ち回り)について(通知)

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、過日、本コンソーシアム総務運営委員会の開催に向けて日程の調整についてご依頼しておりましたが、各委員の方々からご回答をいただきました。お忙しい中ご協力をいただきましてありがとうございます。しかし、年度末の開催ということもあり各委員の日程の調整が難しく会議開催までには至りませんでした。

つきましては、ご審議いただきます資料を別添のとおり作成しましたのでお送りいたします。

本来であれば総務運営委員会を開催してご審議いただくべきところですが、今回は本文書による持ち回りの会議とさせていただきますのでご了承願います。

本件についてご意見等がございましたら、3月23日(火)午前中までに事務局あてお知らせ願います。また、ご意見等がない場合にはご了承いただいたものとして取り扱わせていただきますのでご承知おき願います。

記

審議事案

1. 平成21年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書(案)
2. 第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)(部会等の改廃等)
3. 平成22年度事業等について幹事会へ引き継ぐ事項

※なお、収支決算(案)については集計中のため、幹事会でご審議いただきます。

大学コンソーシアムやまがた事務局
山形大学大学連携推進室内
TEL 023-628-4842
eメール unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

大学コンソーシアムやまがた総務運営委員会会議 次第
(持ち回り会議)

議 事

1. 平成21年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書(案)について

----- 資料1

2. 第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)(部会等の改廃等)
について

----- 資料2

3. 平成22年度事業等について幹事会へ引き継ぐ事項について

----- 資料3

4. その他

配 付 資 料

1. 資料 1 平成21年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書(案)
(総務運営委員会関係)
2. 資料2-1 大学コンソーシアムやまがた幹事会(第5回)議事録
3. 資料2-2 第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)の概要
4. 資料 3 平成22年度事業等について幹事会へ引き継ぐ事項



平成 21 年度 大学コンソーシアムやまがた事業報告書 (案)

教職員の交流・連携・・・・・・・・総務運営委員会担当

1 教職員交流・連携に関する事業

(1) 地域活動・学生活動に関するシンポジウム

- ・平成 19 年度から 3 年間にわたって実施した地域づくりセミナーの報告会の開催

3 / 6 (土) 小国町 水源の郷交流館 (参加者 48 名)

講演会 「公益的な民の力」を活かした地域づくり

東北公益文科大学 准教授 呉 尚浩 氏

学生発表 「小国マップの作製」報告

東北公益文科大学 大学院生 林 久美子 ほか 4 名

(2) 教職員シンポジウムの開催

- ・テーマ： ～山形発！魅力ある大学職員～

3 / 8 (月) 山形大学事務局第 1 会議室及び各加盟機関の TV 会議システムで視聴
(参加者 76 名)

講演 テーマ； 職員の職能開発の現状と今後の方向性

講師：立命館大学人事課課長補佐 辻井 英吾 氏

公立大学協会事務局長 中田 晃 氏

九州大学教育改革企画支援室准教授 田中 岳 氏

パネルディスカッション

テーマ： 魅力ある大学職員

パネリスト：講演者 3 名

東北芸術工科大学教学事務室 志賀 研吾 氏

東北公益文科大学地域共創センター 浦山 恭子 氏

山形大学教育企画ユニット 蜂屋 大八 氏

2 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムへの参加

- ・第 6 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに参加し、情報交換

開催日 9 / 12 (土) ～ 13 (日)

場 所 北海道教育大学函館校

参加者 羽陽学園短大(1)、東北公益文科大(2)、産技短大校(1)、保健医療大(1)、
米沢女子短大(1)、山形大(1)、事務局(1)

3 他コンソーシアムとの交流、訪問調査

- ・ 1 1 月 / 立命館大学から訪問視察
- ・ 1 月 / 北海道教育大学から訪問視察
／関西大学から訪問視察
- ・ 2 月 / 鳥羽高等専門学校から訪問視察
／佐賀大学から訪問視察

高大連携 総務運営委員会担当

1 高大連携に関する事業

(1) 高大連携フォーラムの開催 高等学校教員等対象

・テーマ：～ やまがた高大連携の課題と展望 ～

10/15(木) 山形市保健センター大会議室で開催 (参加者47名)

研究発表：山形工業高、小国高、酒田商業高、東北公益文科大、山形大、山形県

第一分科会：「大学へ入学前の教育」

第二分科会：「大学に望むこと」

第三分科会：「理科教育における高大連携」

各機関のパネル展示、意見交換

(2) やまがたサイエンスカフェ

・山形県の「やまがたサイエンスカフェ事業」と共同事業

・学生による実行委員会が、中・高校生等と科学者との語り合いの場を企画・運営し6回開催

第1回： 8/1(土)14:00-15:30 (山形市・山形大学) 東邦大学 吉祥瑞枝先生 (14名)
「新しい時代のマリー・キュリー」

第2回： 10/24(土)14:00-16:00 (鶴岡市・鶴岡高専) 山形大学 菅原 晃先生 (32名)
「楽しく、不思議な化学の世界を旅して40年ーイオウの有効利用への挑戦ー」

第3回： 10/25(日)13:30-15:00 (山形市・山形大学) 東京理科大学 中井 泉先生
「物質から過去を読むー考古学と科学捜査の接点ー」 (39名)

第4回： 11/18(水)16:00-17:30 (山形市・放送大学) 神戸大学 羅 志偉先生 (33名)
「近未来ロボットへの夢」

第5回： 12/20(日)13:30-15:00 (新庄市・交流センター) 海洋研究開発機構
坂本竜彦先生 (11名)

「海の底のタイムマシンー海底堆積物から探る地球環境」

第6回： 2/4(木)16:30-18:00 (米沢市・山形大学) 山形大学 井上健司先生(48名)
「生物とロボット」

(3) 先進地視察調査

調査先：京都市・キャンパスプラザ京都

12/3(木)～5(土) 参加者5名

羽陽学園短大(1)、東北公益文科大(1)、産技短大校(2)、山形大(1)

広報 総務運営委員会担当

1 広報に関する事業

(1) 共同ホームページ管理・充実 管理運営、新着情報紹介等

・各機関、各部会等でホームページ掲載内容を更新

・各機関の公開講座、オープンキャンパス等の各種イベント情報の掲載

(2) パンフレット類の作成

・用途に応じたパンフ、リーフレット等の作成

(3) 広報紙の発行 「ゆうキャンパスプレスNo.4」(取組事業の紹介、報告、PR)

(4) オープンキャンパス情報の発信

・各機関のオープンキャンパス情報のチラシ・ポスターを作成し全高校に配付

- (5) 活動拠点充実・・・・・・情報提供・広報コーナーの拡充
- (6) 広報用ボールペン、クリアファイル等の作成
 - ・各種事業参加者への配付用として、名入りのボールペンを作成
- (7) 活動報告書の作成を検討

大学コンソーシアムやまがた幹事会（平成 21 年度第 5 回）議事録

日 時 平成 22 年 2 月 9 日（火） 13:30～15:00

場 所 山形大学事務局第二会議室

出席者 委員長 小山 清人（山形大学）

副委員長 小笠原信順（県立米沢女子短期大学）

那須 一彦（山形短期大学）

委 員 下平 裕之（総務運営委員会委員長／山形大学）

津田ひろ子（学術情報部会長／山形大学）

鈴木 英一（山形大学）

富樫 栄一（東北公益文科大学）

長谷川守男（羽陽学園短期大学／田中ふみ子委員代理）

平 洋一（県立産業技術短期大学校）

舟越 利弘（県立農業大学校／竹田耕平委員代理）

今田 秀喜（山形県）

欠席者 副委員長 五十嵐 真二（東北芸術工科大学）

安達 幸世（県立保健医療大学）

委 員 久米 和興（教育連携部会長／県立保健医療大学）

呉 尚浩（地域活動部会長／東北公益文科大学）

中島 勇喜（最上川学プロジェクト推進委員会委員長／山形大学）

加藤康志郎（鶴岡工業高等専門学校）

山崎 彰（事業評価委員会委員長／山形大学）

柴田 洋雄（放送大学山形学習センター）

議事に先立ち、委員長から、東北芸術工科大学の工藤副委員長に代わり同大学の五十嵐事務局長が副委員長となった旨及び山形大学大学連携推進室の横井教授がオブザーバー出席している旨報告があった。

次いで、委員長から、本日の議事録署名人を県立米沢女子短期大学の小笠原委員と山形大学の鈴木委員にお願いしたい旨提案があり了承された。

[報告事項]

- 1 臨時総会（12/22）について
- 2 学長懇談会（1/20）について
- 3 平成 20 年度選定「戦略的大学連携支援事業」に関する文科省ヒアリングについて

事務局から資料 1 から資料 3 に基づき報告があった。

[協議事項]

1 山形工科短期大学校からの入会申し込みについて

事務局から資料4に基づき報告があった後、意見交換・質疑応答が行われ、委員長から諮られた結果、正会員としての入会を決定し、会長から通知することとなった。

主な意見交換の内容は以下の通り。

- 入会を希望する目的は何か？
→ 学内の教員、学生にコンソーシアム加盟の大学等の教員、学生と交流させたいと聴いている。
- 今後も他大学等から申し込みがあった場合は基本的に入会を認めるのか？
→ 会則に会員規定があるが、今後何らかの判断基準を設ける必要があると考えている。

2 第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)について

下平委員（事業計画策定WG座長）から、前回幹事会以降の経緯について説明があった後、横井オブザーバーから資料5に基づき委細説明があった。

次いで、意見交換・質疑応答が行われ、委員長から諮られた結果了承され、次回総会に提案することとなった。

なお、委員長から、次回幹事会までに各部会等から来年度の「顔となる事業」に引き継ぐべき事業を回答願いたい旨依頼があった。

主な意見交換・質疑応答の内容は以下の通り。

- 22年度事業の進め方についてももう少し説明願いたい。
→ 本日の幹事会終了後、各部会等に21年度事業報告(案)や22年度事業として幹事会へ引き継ぐ事項を照会し、次回幹事会(3/26)で審議することとしたい。
- 「コンソーシアムの顔となる事業」のイメージは？
→ まだ明確ではないが、順番としては、昨年の事業評価結果を受け、顔となる事業の柱を立て、予算の制約と引き継ぐ事業を考慮しながら決定していくことになる。

3 新大学コンソーシアムセンター(仮)の設置に向けて

事務局から資料6に基づき説明があった後、意見交換・質疑応答が行われ、委員長から諮られた結果、一部修正した上で総会の書面審議にかけることが了承された。

主な意見交換・質疑応答の内容は以下の通り。

- 本校は予算主義で来年度予算要求はできない。
→今回は初年度なので負担できる大学等からケースバイケースで負担いただきたい。
また、補助金も想定しているが、仮に充当できなくても各大学等の負担が増えることはない。
- コンソーシアムの事務局も移動するのか？
→そのように考えているが、難点は駐車場がないこと。当面は別途駅前の駐車場を利用いただくことになる。
- 秋田では、コンソーシアムとしてだけではなく、個別大学等のイベントにも活用していた。このセンターもそのような利用を考えているか？
→なるべく多く利用していきたい。できれば5月の連休後にも開所式を行いたい。
- 幹事会ではどこまで決定するのか？資料に「予定」と記載されると、記載されている数の大学等が支出を予定していると対外的に誤解を招く恐れがある。
→資料6の収入欄の2大学以外の負担額は削除するが、個別大学の負担の可否（額も含む）は事務局で把握することとしたい。
- 月50万円の家賃を払うのであれば、「宝の持ち腐れ」にならないように活動する必要がある。
→メインの活動は“学生のたまり場”をイメージしている。
- 駅前の人通りの多い場所なので、ディスプレイの仕方によって魅力的な広報の場になると思う。ただ、そのためにはセンスが大事。

[その他]

- 1 美しい山形から「もう一つの人造り」を目指して
横井オブザーバーから、資料7に基づき説明があり、委員長から、本共同宣言はインフォーマルなものであるが、各学長等の連名によりアピールしたい旨の依頼があった。
- 2 最上川学フォーラムII
- 3 教職員シンポジウム「山形発！魅力ある大学職員」
- 4 中国黒龍江省への山形県青年訪問団について
事務局から、資料8～資料10に基づき報告があった。
- 5 次回開催について
委員長から、次回は3月26日(金)13:30～15:00に同会議室で開催することが確認された。

以上

【配付資料】

- 資料 No. なし 幹事会委員名簿
" 大学コンソーシアムやまがた幹事会 (12/14) 議事録
- 資料 1 平成 21 年度大学コンソーシアムやまがた臨時総会議事録
資料 2 学長懇談会関連資料
資料 3 平成 20 年度選定「戦略的大学連携支援事業」に関する文科省ヒアリング関連資料
資料 4 「大学コンソーシアムやまがた」への入会申し込みについて
資料 5 第 2 期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)の概要
資料 6 新大学コンソーシアムセンター(仮)関連資料
資料 7 美しい山形からもう一つの人造りを目指して
資料 8 最上川学フォーラムⅡチラシ
資料 9 教職員シンポジウム「山形発！魅力ある大学職員」チラシ
資料 1 0 中国黒龍江省への山形県青年訪問団の参加概要
- 参考資料 大学コンソーシアムやまがた会則

議事録署名人

山形大学理事・副学長

小山 清人



山形県立米沢女子短期大学事務局長

小笠原 信順



山形大学企画部長

鈴木 英一



第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)の概要

1 計画期間 平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年度間

2 7つの事業方針

- ① コンソーシアムの顔となる事業（連携取組）を最重点的に行う。
- ② 会則の目的である地域社会貢献型の事業に取り組む。
- ③ 「相互利益と相互補完」を原則として「多様な組合せ」により推進する。
- ④ 時代社会の変化に即応し、広報活動と事業評価を重視する。
- ⑤ 国内外の大学コンソーシアムとの連携を進める。
- ⑥ 機会は平等という原則で簡素で効率的な運営を目指す。
- ⑦ 外部資金獲得に積極的に対応する。

3 第2期事業計画

事業名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
コンソーシアムの顔となる事業		新規実施		23年度の評価を踏まえて事業対応		
戦略的大学連携支援事業 (平成 20 年度採択文科省補助事業)		継続	22年度の検討を踏まえて事業対応			
新規想定 事業	大学経営連携事業 地域社会貢献型の事業 国内外コンソーシアムとの連携	検討		23年度の評価、検討を踏まえて事業対応		
事業評価			評価		評価	→ 第3期事業 計画へ

4 平成22年度事業の進め方

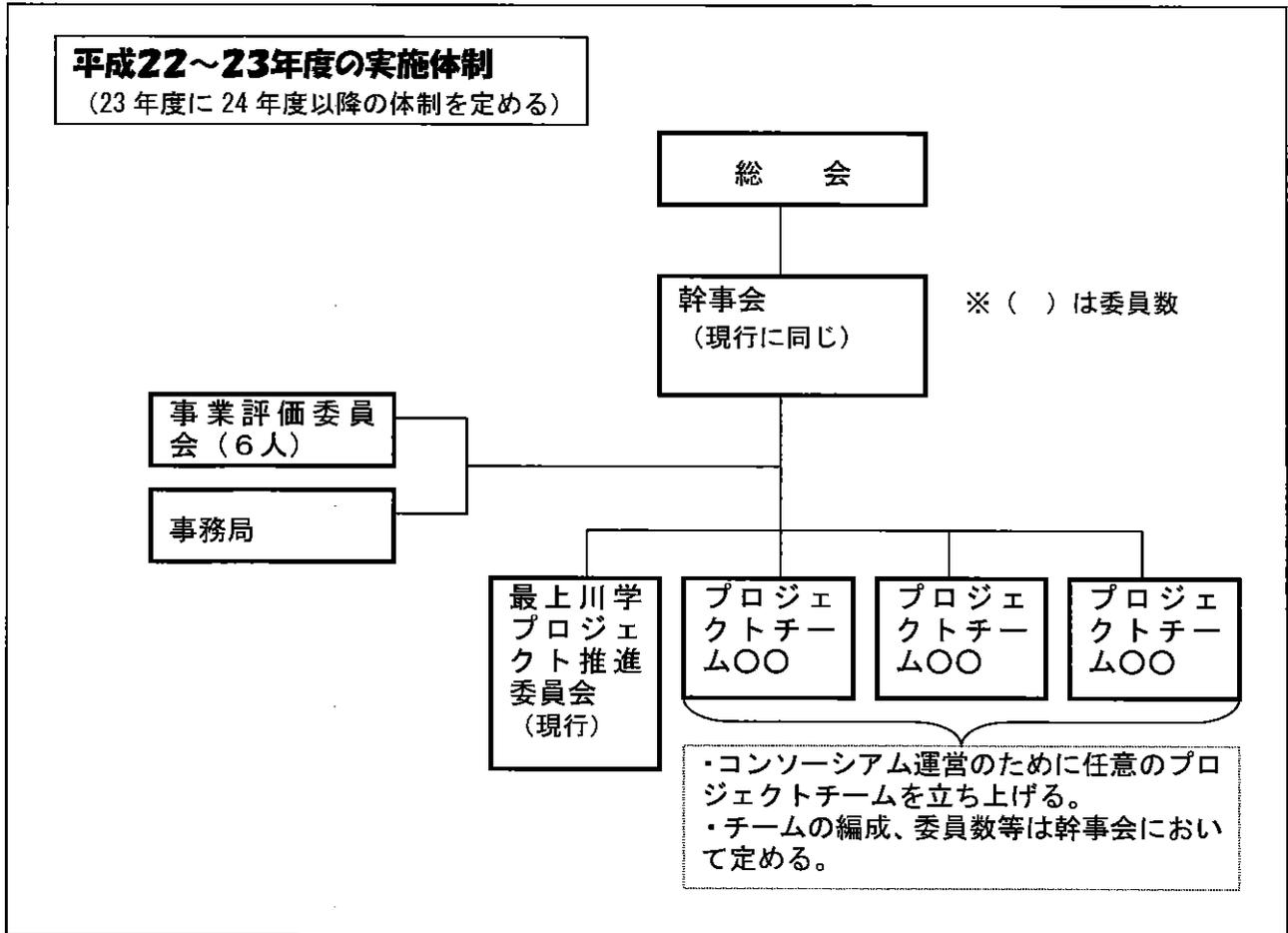
(1) 平成 22 年度事業に向けての手続き

平成 21 年度の幹事会、総会において平成 22 年度事業、その予算及び新体制について決定する。そのために、各部会及び委員会において平成 21 年度の事業報告(案)と決算(案)について及び平成 22 年度の事業等について幹事会へ引き継ぐ事項を協議する。

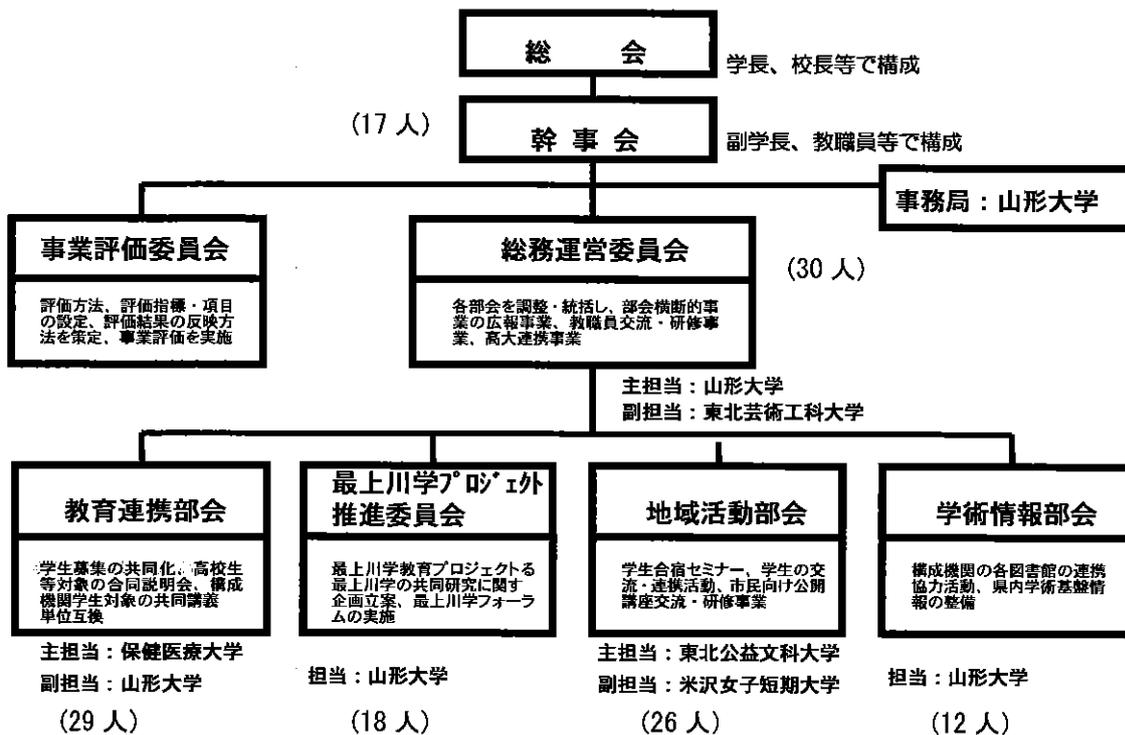
(2) 平成 22 年度予算概略

事業名	コンソーシアム負担	備考
コンソーシアムの顔となる事業	2,200	
戦略的大学連携支援事業 (平成 20 年度採択文科省補助事業)	0	戦略事業の財源による事業実施
新規想定事業	0	負担金徴収による事業実施もありうる
合計	2,200	

5 第2期の実施体制



<参考>現在の大学コンソーシアムやまがたの実施体制 (平成21年12月現在)



平成 22 年度事業等について幹事会へ引き継ぐ事項

部会・委員会名 : 総務運営委員会

1. 事項名

高大連携に関する事業
高大連携フォーラムの開催

2. 引き継ぐ理由

県内の各高校と大学・短大等が個別に実施している教育改革について、相互にそれぞれの内容を把握するとともに、効果的な連携方法を模索するため、高校、大学等、県教育委員会の関係者が一堂に会する場を提供し、教育改革と高大連携の在り方について意見交換を行うことは、本コンソーシアムの重要な機能であるため。

3. 引き継いだ場合の予算額

総額： 267千円

(内訳)

会場借料、講師謝金等

以上

平成 22 年度事業等について幹事会へ引き継ぐ事項

部会・委員会名 : 総務運営委員会

1. 事項名

教職員交流・連携に関する事業
全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムへの参加

2. 引き継ぐ理由

地域における大学は、学術文化の創造と発展、交流を担う拠点であるとともに、広く知を公開して地域社会の発展にも寄与している。

大学はもちろんのこと、地域の歴史、立地、特性を背景として設置された大学コンソーシアムは、高等教育機関と地域社会とが深く結びつきながら大学の発展と地域の活性化の実現となることを目指している。

このようなことから、全国の大学コンソーシアムが一堂に会する研究フォーラムに参加して情報収集・研究の交流、相互の状況把握を行う必要があるため。

3. 引き継いだ場合の予算額

総額： 490千円

(内訳)

@70千円×7名 (南大阪地域)

以上

平成 22 年度事業等について幹事会へ引き継ぐ事項

部会・委員会名 : 総務運営委員会

1. 事項名

広報に関する事業

2. 引き継ぐ理由

- ・パンフレット類、広報紙の作成
用途に応じたパンフ、リーフレット等の作成及び広報紙の発行。

3. 引き継いだ場合の予算額

総額： 1, 0 0 0 千円

(内訳)

リーフレット等	6 0 0 千円
ゆうキャンパスプレス	4 0 0 千円

以上